

研究主題	地理的事象について考察し適切に表現する能力を育てる社会科学習指導の在り方 — 中学校第2学年地理的分野「日本の諸地域」における主題図の活用から地域の課題の 解決策について考える学習活動の工夫を通して —
------	---

1 単元 「日本の諸地域 中国・四国地方」

2 目標

- 中国・四国地方の地域的特色に関心をもち、意欲的に追究し捉えようとする。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 中国・四国地方の地域的特色について、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、その過程や結果を適切に表現することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 中国・四国地方の地域的特色に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、主題図や説明文などに表現したりすることができる。  
(資料活用の技能)
- 中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解しその知識を身に付けることができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

3 指導に当たって

(1) 生徒の実態

これまでの実践においては、動態地誌的な学習を展開するために、中核となる地理的事象を設定し、グループ内で意見交換を行うことを通して学習課題について調べ、追究する学習活動を行ってきた。本学級において「日本の諸地域 九州地方」の単元末にまとめた九州地方の紹介文を分析したところ、次のような実態が見られた。

○ 九州地方の紹介文における記述の分析 (平成24. 7. 17実施 第2学年1組31人)	
・ 複数の事象と関連付けて記述している	9人
・ 一つの事象と関連付けて記述している	1人
・ 地理的事象を羅列的に記述している	21人

追究の過程では、地図の積極的な使用を勧めたが、地図を効果的に活用している様子は見られなかった。これらのことから、地図を活用して調べ、地理的事象の特色や事象間の関連について考察し適切に表現するといった学習活動の手立てが十分ではなかったと考えられる。

(2) 教材観

「日本の諸地域」の学習は、それぞれの地域の特徴ある地理的事象を他の事象と有機的に関連付けて追究する活動を通して、地域的特色を総合的に捉えさせることをねらいとしている。中国・四国地方は、瀬戸内地方に人口が集中し他の地域は過疎化が進んでおり、人口の偏りが見られることが地域の課題となっている。このことに着目し、考察の仕方を「人口や都市・村落を中核とした考察」とする。そして、この地域の課題を中核となる地理的事象に据え、人々の生活や産業、交通網などと関連付けることでその要因を追究し、地域的特色を総合的に捉えていく。

(3) 指導観

本単元では、地域の課題の解決策について考察し、学習場面に応じた表現活動を行っていく。導入では、資料を基に地理的事象を白地図上に表して主題図を作成し、その活用から地域の課題を読み取る。そして、地域の課題の解決策について考えていくことを、単元を通しての学習課題とする。追究過程では、主題図の作成と読み取りを通して、複数の面や視点から地域の課題の要因を説明する。まとめでは、これまでの学習において主題図や説明文に表現してきたことを基にして、地域の課題の解決策について自分の考えを論述することにより、中国・四国地方の地域的特色を総合的に捉える。これらのことから、主題図の活用から地域の課題の解決策について考える学習活動の工夫を通して、地理的事象について考察し適切に表現する能力を育てることができると考える。

4 単元計画

(1) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基に、日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究している。	人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地域的特色に関する様々な資料から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり主題図などにまとめたりしている。	人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

(2) 単元計画（5時間扱い）

	時	学習活動・内容	指導上の留意点（主題図の活用は○）と 評価（◎）	
見 い だ す	1	中国・四国地方の自然環境や人口の様子などを調べよう。	○資料の読み取りに集中できるように、主に扱う分布図や統計等を資料集としてまとめ、配布する。 ○人口分布図や統計資料等を示し、過密地域や過疎地域がどのような場所に位置しているかを読み取らせることで、課題意識をもたせるようにする。 ◎人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基に、中国・四国地方の地域的特色に対する関心をもち、単元の学習課題について予想を立てている。（関心・意欲・態度）	
		○地形や気候など自然環境の様子をワークシート内の白地図に記入する。 ○人口分布の様子を白地図に記入する。		
		< 単元の学習課題 > 中国・四国地方に見られる人口のかたよりの解決策を考え、地域の特徴を捉えよう。		
		○単元の学習課題について予想を立てる。		
追 究 す る	2	中国・四国地方の都市や農村では、どのような生活が営まれているのだろうか。	○前時に作成した主題図から、過密地域と過疎地域がどのような場所に位置しているかを読み取らせる。 ・都市や農村の生活についてのイメージを補うために、景観写真や統計、読み物資料を提示する。 ◎都市部の過密化や農村の過疎化といったことが地域の課題になっていることを理解している。（知識・理解）	
		○地方中枢都市での生活の様子を調べる。 ○農村での生活の様子を調べる。 ○都市の過密化や農村の過疎化についてまとめる。		
		人口のかたよりの要因を、中国・四国地方の産業の様子からさぐる。		○主題図に表されている人口と産業の様子とどのように関連しているかに着目して読み取るよう助言する。 ○産業から考察できる要因について、人口の増加に関するものは赤の付箋に、減少に関するものは青の付箋に記入して、グループ用の地図に整理するよう指示する。 ◎産業の様子について資料から有用な情報を読み取り、主題図を作成している。（資料活用） ◎人口の偏りの要因を産業の様子などと関連付けて考察し、説明文に表している。（思考・判断・表現）
		○産業の様子について分布図や統計資料などから調べる。 ○どこにどのような産業が展開されているのかが分かるように、主題図を作成する。 ○人口が偏っている要因について、産業の様子などと関連付けて考察し、付箋に記述し、グループで話し合う。 ○人口が偏っている要因を、産業の面から説明文にまとめる。		
表 現 す る	3	人口のかたよりの要因を、中国・四国地方の交通網の様子からさぐる。	○主題図に表されている人口と交通網の様子とどのように関連しているかに着目して読み取るよう助言する。 ○交通網から考察できる要因について、人口の増加に関するものは赤の付箋に、減少に関するものは青の付箋に記入してグループ用の地図に整理するよう指示する。 ◎交通網の様子について資料から有用な情報を読み取り、主題図を作成している。（資料活用） ◎人口の偏りの要因を交通網の様子などと関連付けて考察し、説明文に表している。（思考・判断・表現）	
		○交通網の様子について、分布図や統計資料などから調べる。 ○どこにどのような交通網が展開されているのかが分かるように、主題図を作成する。 ○人口が偏っている要因について、交通網の様子などと関連付けて考察し、付箋に記述し、グループで話し合う。 ○人口が偏っている要因を交通網の面から説明文にまとめる。		
		中国・四国地方に見られる人口のかたよりの解決策を考え、地域の特徴を捉えよう。		○主題図や都市・農村の様子分かる写真をパワーポイントで提示して、人口の偏りが中国・四国地方の地域の課題になっていることを確認させることで、課題解決への意識を高める。 ○解決策を考える上での根拠としてグループ用の地図に貼り付けてある付箋の中から必要なものを選び、グループ用のワークシートに貼り直すことを指示する。 ・付箋の内容についてはグループごとに事前に分析しておき、話し合いが進んでいないグループには解決策として活用できる付箋が何であるかを助言する。 ・解決策が地域の特徴から離れているグループには、地域の産業や交通網などの実態を生かした解決策を考えるよう助言する。 ・論述の参考となるように、いくつかのグループに解決策を発表させる。 ○作成してきた主題図から、人口と産業や交通網などの様子とどのように関連しているかを再度読み取り、それらを根拠として論述していくよう助言する。 ・論述が進んでいない生徒には、キーワードをまとめてあるヒントカードを見せながら、その生徒の記述内容に必要なキーワードを助言する。
		○付箋を使用して、解決策について話し合う。		
本 時	4	中国・四国地方に見られる人口のかたよりの解決策を考え、地域の特徴を捉えよう。	○主題図や都市・農村の様子分かる写真をパワーポイントで提示して、人口の偏りが中国・四国地方の地域の課題になっていることを確認させることで、課題解決への意識を高める。 ○解決策を考える上での根拠としてグループ用の地図に貼り付けてある付箋の中から必要なものを選び、グループ用のワークシートに貼り直すことを指示する。 ・付箋の内容についてはグループごとに事前に分析しておき、話し合いが進んでいないグループには解決策として活用できる付箋が何であるかを助言する。 ・解決策が地域の特徴から離れているグループには、地域の産業や交通網などの実態を生かした解決策を考えるよう助言する。 ・論述の参考となるように、いくつかのグループに解決策を発表させる。 ○作成してきた主題図から、人口と産業や交通網などの様子とどのように関連しているかを再度読み取り、それらを根拠として論述していくよう助言する。 ・論述が進んでいない生徒には、キーワードをまとめてあるヒントカードを見せながら、その生徒の記述内容に必要なキーワードを助言する。	
		○付箋を使用して、解決策について話し合う。		
		瀬戸内地方に人口が集中。 } 人口のかたよりが山陰・南四国地方は減少傾向。 } 付箋 ← 人口がかたよる要因（産業面） 瀬戸内地方に工場が集中し、労働者の人口が集まる。（例） 付箋 ← 人口がかたよる要因（交通網面） 高速道路などの交通網の発達で、人口が大都市に吸い寄せられる。（例）		
		解決策 山間部を通る高速道路付近に工場の誘致を行うことで、過疎地域の就職難を解消し、人口の流出を防ぐ。（例） ○解決策について自分の考えをまとめて論述する。		
本 時	5	< 視点 > 中国・四国地方は、○○な問題があり、△△な要因が見られるので、□□にして解決していくことで、◎◎な姿になればよい。	◎中国・四国地方に見られる人口の偏りの解決策について、産業や交通網の様子などと関連付けて考察し論述する活動を通して、地域的特色を総合的に捉えている。（思考・判断・表現）	
		○本時及び本単元をまとめる。		
		< キーワード > 工場の誘致、観光産業の活性化、地方中枢都市の機能の分散、市町村の合併、町おこし、高速道路の整備 など		
		○解決策について自分の考えをまとめて論述する。		

5 本時の指導

(1) 目標

中国・四国地方に見られる人口の偏りの解決策について考察し論述する活動を通して、地域的特色を総合的に捉えさせる。

(2) 準備・資料

ワークシート、グループ用地図、グループ用ワークシート、掲示用の地図

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（地図の活用は○）と評価（◎）										
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中国・四国地方に見られる人口のかたよりについての解決策を考え、地域的特色を捉えよう。</p> </div> <p>2 解決策について、話し合う。</p> <p>(1) 前時までに人口が偏る要因を書き込んだ付箋の中から解決策の根拠となるものを選ぶ。</p> <p>(2) 解決策を考える。          &lt;グループ用ワークシート上での作業例&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">瀬戸内地方に人口が集中。 山陰・南四国地方は減少傾向。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">} 人口のかたよりが見られる。</td> </tr> </table>   <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">付箋 ←</td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black; padding: 5px;">人口がかたよる要因（産業面）</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;">瀬戸内地方に工場が集中し、労働者の人口が集まる。（例）</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">付箋 ←</td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black; padding: 5px;">人口がかたよる要因（交通網面）</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;">高速道路などの交通網の発達で、人口が大都市に吸い寄せられる。（例）</td> </tr> </table>   <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">解決策</td> <td style="width: 90%; border: 1px solid black; padding: 5px;">山間部（盆地）を通る高速道路付近に工場の誘致を行うことで、過疎地域の就職難を解消し、人口の流出を防ぐ。（例）</td> </tr> </table> </div> <p>(3) 解決策を発表する。</p> <p>3 解決策について自分の考えを論述する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt; 視点 &gt;          中国・四国地方は、○○な問題があり、△△な要因が見られるので、□□にして解決していくことで、◎◎な姿になればよい。</p> </div> <p>4 本時及び本単元の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>中国・四国地方は、温暖で平野が広がる瀬戸内地方に人口が集中しており、山陰地方や南四国地方の山間部は過疎問題が深刻化している。産業や交通網も瀬戸内地方を中心に発達しており、かたよりの要因となっている。過疎・過密の問題については、人々の生活がよりよいものとなっていくよう、解決を目指していくことが期待されている。（例）</p> </div>	瀬戸内地方に人口が集中。 山陰・南四国地方は減少傾向。	} 人口のかたよりが見られる。	付箋 ←	人口がかたよる要因（産業面）	瀬戸内地方に工場が集中し、労働者の人口が集まる。（例）	付箋 ←	人口がかたよる要因（交通網面）	高速道路などの交通網の発達で、人口が大都市に吸い寄せられる。（例）	解決策	山間部（盆地）を通る高速道路付近に工場の誘致を行うことで、過疎地域の就職難を解消し、人口の流出を防ぐ。（例）	<p>斉</p> <p>○人口の偏りが中国・四国地方の地域の課題になっていることを、作成してきた地図や都市・農村の様子が分かる写真を黒板に掲示することで再確認し、課題解決への意識を高める。</p> <p>・人口の偏りについての解決策を具体的に考えるために、ワークシートにまとめてある都市や農村の生活の様子を見直すことを助言する。</p> <p>○解決策を考える際には、ワークシートにまとめてきた地図や付箋からその根拠を見いだすよう助言する。</p> <p>○解決策を考える上での根拠としてグループ用の地図に添付してある付箋の中から必要なものを選びグループ用ワークシートに添付し直すことを指示する。</p> <p>・話し合いが進んでいるグループには、複数の解決策を考えるよう助言する。</p> <p>・付箋の内容についてはグループごとに事前に分析しておき、話し合いが進んでいないグループには解決策として活用できる付箋が何であるかを助言する。</p> <p>・解決策が地域的特色から離れているグループには地域の産業や交通網などの実態を生かした解決策を考えるよう助言する。</p> <p>・論述の参考となるように、いくつかのグループに解決策を発表させる。</p> <p>斉個</p> <p>○作成してきた地図から人口と産業や交通などの様子がどのように関連しているかを再度読み取り、それらを根拠として論述していくよう助言する。</p> <p>・論述が進んでいない生徒には、キーワードをまとめてあるヒントカードを見せながら、その生徒の記述内容に必要なキーワードを助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;キーワード&gt;              工場の誘致、観光産業の活性化              地方中枢都市の機能の分散、市町村の合併              町おこし、高速道路の整備 など</p> </div> <p>・数名の生徒に解決策を発表させ、要点を黒板にまとめる。</p> <p>◎中国・四国地方に見られる人口の偏りの解決策について、産業や交通網の様子などと関連付けて考察し論述する活動を通して、地域的特色を総合的に捉えている。（思考・判断・表現）</p>
瀬戸内地方に人口が集中。 山陰・南四国地方は減少傾向。	} 人口のかたよりが見られる。										
付箋 ←	人口がかたよる要因（産業面）	瀬戸内地方に工場が集中し、労働者の人口が集まる。（例）									
付箋 ←	人口がかたよる要因（交通網面）	高速道路などの交通網の発達で、人口が大都市に吸い寄せられる。（例）									
解決策	山間部（盆地）を通る高速道路付近に工場の誘致を行うことで、過疎地域の就職難を解消し、人口の流出を防ぐ。（例）										